

新型コロナウイルスの時代をどう生きるか

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染者・濃厚接触者・医療従事者やその家族、外国人の方などが、いわれのない誹謗中傷やいじめ、差別的対応を受け、心を痛めています。

私たちは、見えないウイルスに不安や恐れを感じ、遠ざけたいという気持ちから、感染症にかかわる人を必要以上に避けるなど、差別的な行動をとってしまうことがあります。このような行為を「社会感染」と呼んでいます。

社会感染を防ぐために、私たちはどうすればよいのかを、講師と一緒に考える講演会を開催します。

日時：令和2年10月16日（金）
午後1時30分～

会場：飛騨市図書館2階 にじのひろば

※オンライン講演会

申込先：飛騨市役所 市民保健課

電話にて、住所・氏名・連絡先をお知らせ下さい。

申込期限：10月14日まで

☎ 0577-73-7464

※定員30名（定員になり次第、締め切りとします）

※マスクの着用をお願いいたします



講師：桑山 紀彦（高山市出身）

精神科医、心療内科医、医学博士

特定非営利活動法人 地球のステージ 代表理事

山形大学医学部卒業。同医学部大学院博士課程修了。医学博士。専門は国際協力、心理社会的ケア、トラウマ精神医学。ウイルス感染症にも知見が深い。1996年よりNPO法人「地球のステージ」を主宰して、全国の学校を中心に音楽と映像のコンサート「地球のステージ」を公演して24年。もうじき4000回を迎えようとしているが、新型コロナ禍で「地球のステージ」公演は相次いで延期。一方で同級生で友人でもある某大学のウイルス学教授の監修を受け、新型コロナウイルスとどう生きていくかをテーマに講演活動を行っている。

2020年3月、パレスチナでの心のケア活動が認められ、医療功労賞受賞。コロナ禍を生きる心の持ちようについて、ニュース23（TBS）にも出演。

主催：高山人権擁護委員協議会

共催：高山市・飛騨市・下呂市・白川村

高山市社会福祉協議会・飛騨市社会福祉協議会・下呂市社会福祉協議会・白川村社会福祉協議会

